

2023 6月

# 宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2  
TEL / FAX 0463-78-9100



## 常設展示室

### なつかしい日々

2023 3/31(金)→10/9(月・祝)

展示作品より今月の一点

《舞妓》



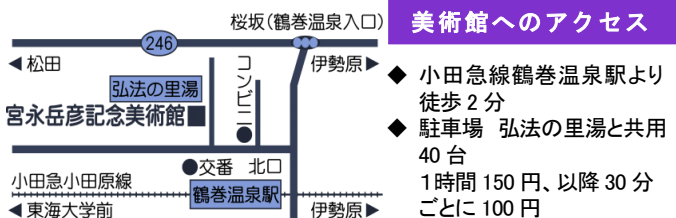
淡い灰色の不規則な丸模様を背景に、はんなりと美しい舞妓が佇んでいます。宮永は、和紙の持つ偶然性がもたらす滲みの効果を意図的に出すため、フランス製の水彩紙『アルシュ』を好んで使用しました。それにより、どこか幻想的でしっとりとした背景は、舞妓の魅力をより引き立て、墨の織りなす独特の情趣を演出しています。

結われた日本髪は墨特有のぼかしにより、ふわりと柔らかくに表現され、鬢付け油で整えられた一般的な日本髪のイメージとは異なる印象です。また、目鼻立ちのはっきりした西洋風の横顔は、宮永の代名詞となる美人画を彷彿させます。

宮永は学生時代から水墨画の修練を積み、その素養を身に付けていました。このとき培った技量は、後にポスターや挿絵、童画と幅広い分野で活かされ、多彩な才能を開花させることとなります。その後、水墨画の濃淡やぼかしといった特殊な技法を駆使して確立された画風は『光と影の華麗なる世界』と称されました。

1971年 水墨画

- 観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
- ・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料
- 開館時間 ・午前10時から午後7時 (入館時間は午後6時30まで)



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

## 市民ギャラリーのご案内

入場無料

### 高橋光久 金時山からの絶景+α II

5月30日(火)～6月4日(日)  
10:00～17:00 (初日 13:00から 最終日 16:00まで)

金時山からの作品を中心に、近隣で撮った富士山と雲の写真をゆっくり見てください。

### 7月の市民ギャラリー展覧会の予定

KEI 押し花倶楽部(押し花)  
7月14(金)～7月17日(月)

※ 6月1日(木)から12月分までの予約を受け付けています。

### 宮永のエピソード

宮永は秦野に住んでいた頃、自宅の庭先に猿をはじめ色々な動物を飼い、ミニ動物園を造り地域の子どもの遊び場として提供していました。そして、そこで遊ぶ子供たちの姿をスケッチしながら、可憐でユーモアあふれる童画の着想を得たといいます。高いデッサン力で描かれた動物や草花。それに加え、ひな祭り、端午の節句、七夕など日本の伝統行事を楽しむ子どもの絵は、どこか懐かしく、ほのぼのとした温もりを感じます。



宮永自身も古き良き時代を偲びつつ楽しみながら描いた童画は、見ているだけで笑みがこぼれ、郷愁をかき立てられます。

### 新しいクイズができました!

当美術館では、展示ごとにクイズをご用意しています。今回はかわいらしい動物や子どもの絵がたくさん飾られているので、楽しみながらチャレンジできるとおもいます。終了したら消しゴムはんこも押せますよ!

ご来館をお待ちしております。



6月の休館日 : 5日(月) 12日(月) 19日(月) 26日(月)